

二〇六八番

天あまの原はら 振ふり放さけ見みれば 天あまの川がは 霧きりた立ち渡わたる
君きみは来こぬらし

二〇六九番

天あまの川がは 瀬せごとに幣ぬさを 奉たてまつる 心こころは君きみを 幸さきく
来きませと

二〇七〇番

ひさかたの 天あまの川かはづ津に 舟ふねう浮うけて 君きみま待まつ夜よら
は 明あけずもあらぬか